

事業番号	48	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。今年度は旧街道探訪講座2講座、パソコン講座2講座、俳句講座1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自に生涯学習講座を実施						
	事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度		-	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方				一般財源	551		551	506	408	491	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。				国費・県費	551		551	506	408	491	
					地方債							
					その他							
					受益者負担額	436	465	459	675	432		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~			成果指標	H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		H25目標値																	
① 旧街道探訪講座	市内在住、 在勤、在学 の方	●		●		生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う	申込者58人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	97	97	%	申込者の多い講座で あるので、募集定員 の充足を目標とする。	144	144	144	144	講師料72千円×2回	A 維持 維持	文化財保護審議会の委員である小林 元氏が講座を受け持ち、募集人数もほ ぼ確保していることから、市民の求める 生涯学習講座のニーズに合っているた め、現行どおり実施する。
② パソコン講座	市内在住、 在勤、在学 の方	→		→		生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う	申込者20人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	87	100	%	申込者の多い講座で あるので、募集定員 の充足を目標とする。	195	195	225	127	はじめてのパソコン講 座講師料10千円×6 回 初心者向けインター ネット検索講座講師 料10千円×6回 アシ スタント1,200円×6回	A 維持 維持	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員もほぼ確保していることから、市 民の求める生涯学習講座のニーズに 合っているため、講座内容の充実を図 りつつ実施する。
③ 俳句講座	市内在住、 在勤、在学 の方		●			生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う	申込者7人	募集人数の確保 講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	33	29	%	申込者が少ない講座 であるので、8割程 度の定員充足率まで 引き上げる。	60	60	60	60	講師料15千円×4回	E - -	広報・HPに加え、公共施設にチラシを 設置し受講生募集を行った。しかし、平 成24年度と比較しても、申込者は減少 し、3割を下回ることから現在、市民が 求める生涯学習講座のニーズに合っ ていないと判断し、事業廃止を検討する。
④ 自分で装うはじめて の浴衣	市内在住、 在勤、在学 の方		●			生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う	申込者10人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	33	67	%	申込者が少ない講座 であるので、8割程 度の定員充足率まで 引き上げる。	32	32	32	32	講師料8千円×2回 ×2人	B 維持 維持	平成24年度と比較して受講希望者は増 加しているため、引き続き日程や内容 等を再検討し、募集人数確保に努めた い。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要
	④	自分で装うはじめて の浴衣		住民からの要望が高い講座であるため、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整する。 また、市民に広く通知するためにも、広報・HPに加え公共施設にチラシの設置を依頼する。	

事業番号	48	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。今年度は旧街道探訪講座2講座、パソコン講座2講座、俳句講座1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自に生涯学習講座を実施																		
	事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度		-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方				うち	一般財源	551	551	506	408	491													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。					国費・県費	551	551	506	408	491													
						地方債																		
						その他																		
					受益者負担額	436	465	436	675	432														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標		H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~							10月~	1月~			
⑤ 茶道入門講座	市内在住、 在勤、在学 の方	4回講座で15人募集すること	→	生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	申込者13人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	60 87 80	%	申込者の多い講座であるので、募集定員の充足を目標とする。	60 60 60	60 60 60	講師料15千円×4回	A 維持 維持	平成24年度と比較して大幅に募集人数を確保できた。市民の求める生涯学習講座のニーズに合っているため、今後も募集人数確保を努めたい。
⑥ 市内史跡めぐり講座	市内在住、 在勤、在学 の方	2回講座で20人募集すること	●	生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	申込者19人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	85 95 80	%	申込者の多い講座であるので、募集定員の充足を目標とする。	15 15 15	15 15 15	講師料15千円	A 維持 維持	平成24年度と比較して大幅に募集人数を確保できた。市民の求める生涯学習講座のニーズに合っているため、今後も募集人数確保を努めたい。
⑦														
⑧														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	